

結核登録者情報システムのデータを研究利用することについて（オプトアウト）

1. 研究についての説明

【研究課題名】

COVID-19 流行期における結核病床制限と肺結核喀痰塗抹陽性患者の臨床アウトカムとの関連

【研究の目的と意義】

本研究は COVID-19 流行前後における川崎市の結核入院患者の実態を明らかにすることを目的としています。本研究の結果は、感染症流行期における結核病床の確保や入院調整の課題を検証する上で有用であり、今後のパンデミック時における結核医療体制の確保や持続可能な感染症医療体制の構築に資する知見を提供する意義があります。

【対象となる方】

2019年1月1日～2019年12月31日または2021年1月1日～2021年12月31日の期間に結核登録者情報システムにおいて肺結核患者として登録された方のうち、同期間に川崎市に居住していた方。

【利用する情報】

結核登録者情報システムの登録データのうち、年齢、性別、診断日、入院日、退院日、治療開始日、合併症、病型、喀痰検査結果など。

*特定の個人を識別できる情報（氏名、生年月日、住所など）は使用しません。

*結核登録者情報システムとは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、感染症法）の第12条から第16条に基づき国が整備する感染症サーベイランスシステム（National Epidemiological Surveillance of Infectious Disease; NESID）にある公的データベースです。結核登録者情報システムは、公的機関が発行する個別IDとパスワード、情報セキュリティシステムにより情報が守られ、アクセス権限が付与されていない者は操作することができないように厳重に管理されています。

【研究の実施期間】

2026年1月28日～2026年7月31日（情報は研究終了後10年間保存し、その後は電子的・物理的に復元不可能な状態にして廃棄します）

【研究結果の公表】

結核・非結核性抗酸菌症学会等で研究結果を公表する予定です。

本研究の結果は、匿名の集団データとして統計分析するため、公表内容には個人情報や個別データは含まれません。

【研究の実施機関・研究責任者】

川崎市立看護大学看護学部公衆衛生看護学領域 研究責任者：遠藤雅幸

【倫理審査の承認】

本研究は本学研究倫理審査委員会にて審査を受け承認されています。

承認番号：25-J056

2. 研究への不同意を希望される場合（オプトアウト方法）

上記の対象に当てはまる方について、本研究では対象となる方に個別の同意をいただくことは極めて困難なため、情報の利用についてあらかじめ拒否できる機会（オプトアウト）を設けています。

ご本人や意思表示することが難しい方のご家族が希望する場合は、研究対象から除外することが可能です。研究対象ご本人または代理人の方で、研究対象から除外することを希望される場合は、個人照合に必要な下記の情報をメールまたは郵送にてご連絡ください。

照合に必要な情報：氏名・生年月日・性別、結核と診断された西暦年と月

※これらの情報は本人確認および研究対象からの除外処理のみに用います。

【オプトアウト受付期限】

2026年3月31日（火）まで

*結核登録者情報システムからデータを抽出する際に、個人が特定できる情報（氏名・生年月日・住所など）を削除してデータを匿名化する処理を行います。オプトアウト受付期限を過ぎた場合には、データを匿名化する処理が終了しているために個人を特定することができず除外することができなくなります。

【連絡先】

本研究および情報提供についてご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

川崎市健康福祉局 川崎市立看護大学
公衆衛生看護学領域 遠藤 雅幸
〒212-0054 川崎市幸区小倉4丁目30番1号
Tel: 044-589-6107 (研究室直通) / 044-587-3500 (代表)
E-mail: endou-m@kawasaki-cn.ac.jp

以上